

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		商店街（代表者）	・東京オリンピックに関連する業種の動きが、一層活発になってきている。
		一般レストラン（経営者）	・年末年始に向けて、人の動きが出てくる。
(東海)		商店街（代表者）	・客の様子から、景気は底からは脱し、少しずつだが上向きつつある。
		百貨店（企画担当）	・好調な食料品やレストランに加え、インバウンドによる化粧品を中心とした購買が大幅な伸びを示しており、全体的に好調が続く。
		百貨店（経理担当）	・北朝鮮問題等の地政学リスクは懸念されるが、堅調な株価や企業業績の伸長による所得増加が消費を後押しして、しばらくは景気の上向きトレンドが持続する。
		スーパー（経営者）	・年末年始にかけての参拝客の増加に期待している。
		スーパー（総務担当）	・気候も落ち着き、野菜価格も平年並みになってきており、販売企画も立てやすくなっている。
		スーパー（支店長）	・気候も良くなり消費拡大が見込めるが、今後の国の政策と方向性が不透明なため、不安もある。
		スーパー（営業企画）	・衆議院選挙による先行きへの期待感から、若干の景気上昇がある。
		スーパー（販売担当）	・様々な催事を計画しており、売上が増加する。
		コンビニ（エリア担当）	・主力である米飯商品等が前年比で改善し、来客数も順調に推移している。継続的な夕夜間のキャンペーンの実施により売上も改善傾向にあり、業況はやや良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・株価は安定しており、客との話からもムードは良くなってきている。衆議院選挙の結果は気になる。
		乗用車販売店（経営者）	・秋以降は各地でイベント開催等の動きが活発になる。天候も安定してくるので、週末の来客数の増加を期待する。
		乗用車販売店（経営者）	・12月決算に向けて年内の買換えを考えている客の動きが、前年よりも活発である。
		乗用車販売店（従業員）	・問い合わせも入っており、今より良くなっていく。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・季節が変わり、必要となる物が変わってくる。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・衆議院選挙も終わり、年末商戦へ突入する。選挙の結果によっては、悪くなる恐れもある。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・年末が近づくとつれて来客数や購入量は増加する。大型店オープンの影響も考えてイベントを数多く企画しており、売上増加を期待している。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・年末やクリスマス等があり、プレゼントや自分へのご褒美に金を使う人が増える。ぜいたくな物にも少しずつ金を使うようになり、景気はやや良くなる。
		一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・秋から冬にかけてはイベント等に力を入れて、売上も現状維持以上を目指す。
		一般レストラン（従業員）	・衆議院選挙で、何かと忙しくなる。
		タクシー運転手	・衆議院選挙で様々な動きがあり、2～3か月先は、今よりは良くなると見通している。
	通信会社（企画担当）	・どのような結果になったとしても、衆議院選挙によってこれまでの混とんとした政治や社会はリセットされ、景気も回復に向かう。	
	ゴルフ場（企画担当）	・11月の予約は各施設で前年同期を上回っており順調である。天候も比較的安定する時期であり、好調な推移が見込まれる。	
	美容室（経営者）	・夏場は、来客数が減少し売上も減少したが、これから年末年始に向かってはパーマをかける客も多くなり、良くなっていく。	
	美顔美容室（経営者）	・12月末までセット商品のキャンペーンが続き、お得感のあるセット商品の購入がある。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・気候が良くなり行楽等の外出が増え、関連商品の需要が伸びる。また、年の瀬までに住環境を整えようとする駆け込み客も出てくるので、業績には追い風となる。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・内職の依頼に対して人手不足の状況は変わらず、最低賃金も引上げられることから、加工賃等の単価アップにつながる。	
	その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・数件の新築物件で受注しているが、工程が進んでそろそろ当社の関係する施工段階になってくる。	

商店街（代表者）	・衆議院選挙の争点で消費税の引上げの議論が出ており、これまで以上に節約志向が強まる。
商店街（代表者）	・販売量や客の様子から、これ以上悪くなっていくことはないが、今後良くなるようにも、全く感じられない。
商店街（代表者）	・これまでになく社会情勢は不安定で、なかなか消費に金が回らない。
商店街（代表者）	・衆議院選挙の結果によって多少のぶれはありうるが、基本的には変わらない。中小企業の景気が上向きになることはない。
商店街（代表者）	・バラ売りができる売店はよいが、駅売店のように箱詰め商品しかない店では、10個入より6個入といった小さい箱へシフトしている。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	・衆議院選挙の結果も決まる。先行きにはあまり良くない材料がある。
一般小売店〔生花〕（経営者）	・景気は良くなっていると耳にするが、全く良くなっているようには感じられない。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の客の様子からは、この先も街中での飲食店の利用が増えるようには見受けられない。飲料の販売も当然伸びない。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・一部の大口客によって売上は支えられるが、来客数は減少が続く。企業としてある程度努力することによって、全体としては3か月先も現状維持を見込む。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地方の不景気は変わらない。一部に活況の企業もあるが、全体では横ばいである。秋のセールに期待したい。大手チェーンの厳しい出店攻勢で地元ドラッグ業界では安売り競争が激しく、利益の得にくい状況になっている。
一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	・秋から冬にかけては、例年どおりの受注増加が見込まれる。
一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・衆議院選挙後の行方や米国と北朝鮮の問題等、わからないことや不透明なことが多すぎて、何とも言えない。
百貨店（売場主任）	・秋冬商材が少し出ているが、購買意欲を示す客はまだ少なく、売上に結び付かない。繁華街には買物よりも食事だけに來る人が多い。
百貨店（経理担当）	・今の状況が急激に変化するとは思えない。国際情勢や衆議院選挙の結果によっては、景気が悪くなる方向に向かう。
百貨店（販売促進担当）	・衆議院選挙が終わるまでは、買い控えが続く。
百貨店（経営企画担当）	・衆議院選挙が終わるまでは、客の動きや売上が鈍る。中国政府の旅行規制等もあり、今後の動向が心配である。
百貨店（売場担当）	・商品単価が高くなり客単価も上昇が見込まれるが、集客できるイベント等がないため、大きくは変わらない。
百貨店（販売担当）	・限定商品の投入やイベントもあり、自家需要、ギフト需要共に好転を期待する。
百貨店（販売担当）	・高額品の伸びはしばらく続くが、中間層の動きの鈍い状況は変わらない。
百貨店（計画担当）	・ターミナル駅エリアへの流入が相変わらず続いており、食品を中心に好調を維持する上に、インバウンドの伸びが今後も見込まれる。
スーパー（経営者）	・中小飲食店には、特に先行きは悪くなるという声はなく、現状と変わらないという声が多い。
スーパー（経営者）	・年末頃の景気はまあまあではあるが、相変わらず消費は伸びない。グローバル化の影響で、大企業のボーナスはますますでも、中小零細企業ではあまり出せないため、歳末の売出しも全体的には伸びない。人手不足は続くが正社員は増えず、パート、アルバイトの比率はますます高まる。
スーパー（店員）	・足元では来客数も購入点数も減少が続いている。
スーパー（店員）	・台風が今後の作物にどう影響するかが気になる。小旅行や運動会等、イベント関連の消費に期待している。
スーパー（販売促進担当）	・衆議院選挙が終わるまでは、ギフト等の高額商品の動きが鈍くなる。
スーパー（人事担当）	・消費税の引上げが進められない限り、大きな変動はない。
コンビニ（企画担当）	・良くなる要因は見当たらないが、大幅に悪くなるとも考えにくい。
コンビニ（エリア担当）	・10～11月にも3連休があるが、全体的な流れとしては大きく上向くようには感じられない。
コンビニ（エリア担当）	・わずかに良くなっているようにも感じるが、セール品以外の売上は減少しているので、財布のひもは厳しいままである。

	コンビニ（エリア担当）	・衆議院選挙を控えているが、その結果で経済が好転するとは感じられない。
	コンビニ（店長）	・街全体の人出が落ち込んでいる状況は変わらない。クリスマスや年末の景気も、前年以上には上向かない。
	コンビニ（商品開発担当）	・来客数は伸び悩みが続き、短期的には改善が見込めない。
	衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	・景気の回復を期待はしているが、これまでの流れを考えると、現状維持が精一杯である。クリスマスや年末商戦についても、衣料品の苦戦は変わらない見込みであるが、雑貨関連については、買換え等を含めて回復が期待できる。
	衣料品専門店（販売企画担当）	・一部のブランド商品には動きがある。それ以外のブランドを扱っている店では苦戦が続く。
	家電量販店（店員）	・有機Eテレビ等、高額な商品を客には勧めているが、実際に売れ始めるのは、まだまだ先になりそうである。
	乗用車販売店（経営者）	・各メーカーから注目される新型車種が発売されているが、販売量にどれほどの好影響があるかは、まだ不透明である。
	乗用車販売店（従業員）	・今後、マイナーチェンジや特別仕様車等のでこ入れもあり、年末に向けては、新車に関心をもってもらえると期待する。市場の動きはまだ鈍いが、新しい安全装備をPRして買換え需要を喚起したい。
	乗用車販売店（従業員）	・前月までは想定外に好調を維持していたが、足元の動きをみると、先々は厳しい見通しである。ただし、工場への在庫量はわずかだが増えており、それほど悲観するような状況でない。
	乗用車販売店（従業員）	・新型車種の発表等はなく、既存車種を地道に売るだけである。全社的な取組による社員の意識改革もあり、新規客ばかりに期待せず点検等で在庫する客に繰り返し促進することで、買換え客も増えている。販売台数は大幅には増えないが、大幅に減少することもない。
	乗用車販売店（従業員）	・北朝鮮問題や衆議院選挙の結果等によって様々なことが大きく動く可能性があり、景気の先行きは良くも悪くも不透明である。
	乗用車販売店（総務担当）	・雇用情勢のひっ迫を実感する。所得水準も徐々に改善していくと思うが、消費拡大への影響までには時差がある。
	乗用車販売店（販売担当）	・新型車種がデビューしたが、行政の不備で登録がすぐできず、スタートダッシュを逃し苦戦している。
	住関連専門店（営業担当）	・住宅やマンションの新築物件や公共投資等は減少が続く。ただし、リフォーム物件は今後も増加が見込まれる。
	高級レストラン（役員）	・年末の予約の入り方が、前年同月比で弱い。
	一般レストラン（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・衆議院選挙の結果次第であり、新政権が明るい材料を提示して雰囲気だけでも良くなれば、少しは良くなる。
	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・消費者は無駄遣いせず、本当に必要な物のみを購入する。ただ、イベントの時等の大きな支出への抵抗感は薄まっている。
	都市型ホテル（従業員）	・先行きの予約数から横ばいが見込まれる。
	都市型ホテル（支配人）	・宿泊は、外国人旅行者の動向次第である。
	都市型ホテル（経理担当）	・前年並みの推移が続いている。
	旅行代理店（経営者）	・10月は旅行業にとって書き入れ時だが、衆議院選挙があり少し心配している。
	旅行代理店（経営者）	・全体としては落ち込んでいないが、需要の変動を吸収できる業界とできない業界があり、平均化された景気としては変わらない。国内だけをみれば景気は良いように見えるが、海外と比較すれば、伸び率は低い。
	旅行代理店（経営者）	・秋の味覚シーズンから、クリスマス、正月、カウントダウンイベント等の情報を目にする機会が増えれば、旅行を計画をする人も増える。ただし、派手に金を使って旅行する人や、業績が良いので忘年会を宿泊でやろうという企業は、以前より少ない。
	旅行代理店（従業員）	・衆議院選挙があると旅行が減る。特に団体旅行は参加人数が少なくなる。秋の繁忙期の旅行需要の減少は、業界の景気に大きな影響を与える。しばらく景気は上昇しない。
	タクシー運転手	・長い間、夜の繁華街の人出は少なく、ここ1～2年の動きも変わらず、すぐ良くなるという感触はない。
	タクシー運転手	・足元の状況があまり変わらない。

通信会社（営業担当）	・新機種の発売がやや遅れ気味で、業況に影響する懸念があるが、他の機種の販売で何とかなる。
通信会社（営業担当）	・これといって変動する要素がない。
通信会社（サービス担当）	・販売の起爆剤となる、新規客への新サービスやキャンペーンがないため、今と変わらない。
通信会社（営業担当）	・新商品もなく安価な商品もないため、変わらない。
通信会社（営業担当）	・これまで販売量は増加してきたが、今後は現状維持で推移する。
テーマパーク（職員）	・天候にも左右されるが、施設内の花が例年よりも長持ちしそうである。
その他レジャー施設 〔鉄道会社〕（職員）	・祝日については団体予約や観光列車への問い合わせがあるものの、平日の動きが相変わらず少ない。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕 （広告担当）	・衆議院選挙の結果次第であり、微妙である。
美容室（経営者）	・これといったイベントもなく、来客数は、減少か現状維持である。
住宅販売会社（従業員）	・当分は横ばいである。
住宅販売会社（従業員）	・例年、11月後半からは来客数も契約数も伸びなくなる。10月までが重要であるが、客の動きは鈍く、低調のままが続く。
住宅販売会社（従業員）	・この地方では、東京オリンピックの効果はいまだに感じられない。材料の間屋が閉店し、業種によっては仕事を続けるのが困難になって辞める業者もいる。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・年末に向けては、来客数は減少が続く。
一般小売店〔電気屋〕 （経営者）	・節約志向が強まり、客は価格に対して敏感になっているので小売業は厳しい。季節要因を考えると今後は若干上向くかもしれないが、あまり変わらない。
一般小売店〔書店〕 （経営者）	・従来の実店舗での販売とネットの販売との差がどんどん出てきており、実売は駄目になっていくと感じる。今後、実売は少しずつ減っていく。
百貨店（販売担当）	・なかなか盛り上がる要素に欠ける。ヒット商品も少なく厳しい。
スーパー（店長）	・食品の値上げが続き、消費者の買い控えが一層進む。
スーパー（販売担当）	・10月に競合店が2店増え、2～3か月は影響するが、その先には巻き返す意気込みである。
スーパー（ブロック長）	・北朝鮮の問題は不透明で、衆議院選挙も実施され、状況は不安定である。競合先の出店もあり、競争は一層激しくなる。
コンビニ（店長）	・食品類の仕入価格が上がってきている。販売価格は上げられず、じわじわと影響が出ている。
コンビニ（店長）	・ドラッグストアが学区内にまた1店オープンし、ますます競争が激しくなる。
家電量販店（店員）	・政治が安定し先行きが見通せるようになれば、景気は良くなるが、北朝鮮問題も含めて、このままの状況では悪くなっていく。
乗用車販売店（営業担当）	・10月にはいったん落ち込み、その後の回復を期待するが、現在のラインナップのままでは厳しい。
観光型ホテル（経営者）	・11～12月は、例年と変わらない団体客のみで新規開拓がなかなか進まない。12～1月は県外客が少なくなり、新たに市場を開拓しないと、2～3か月先は今よりも悪くなる。企業に元気がないと社員旅行や慰安旅行等は行われぬが、経済の実状からは、まだまだ動きに乏しく、かつての企業文化も復活していない。
旅行代理店（経営者）	・天災、国際情勢、衆議院選挙等により、今後もなかなか景気回復が見込めない。
旅行代理店（経営者）	・北朝鮮情勢等への不安等がまだまだ続く。
理美容室（経営者）	・客との話では、物価も上がり景気は段々悪くなってくる。
美容室（経営者）	・東京の景気が良いが、地方は良くない。サービス業は特に良くない。
設計事務所（経営者）	・種まきとなる計画件数が現時点では少なく、先の仕事量も見通せる範囲である。
設計事務所（職員）	・衆議院選挙があるが、景気に対する策は何も示されない。何もなし状況では、景気の見通しは立たない。
その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・仕事量は増えているが、発注単価が低い上に原価や人件費が上昇しているため利益が出ない。全体的に発注単価の上昇はまだ先のように、景気が回復しているとは思えない。

	x	スーパー（商品開発担当）	・来客数は前年同月比99.4%で、今まで前年を割ったことはなかった客単価も9月には初めて前年を割っている。来客数は売上に影響するので、回復できなければ先行きも厳しくなる。
	x	衣料品専門店（経営者）	・冬物商材は単価が高く、なじみ客でも買い足し程度の需要しかない。
	x	一般レストラン（経営者）	・政治の動きや消費税の引上げ等の国内情勢、北朝鮮問題等、消費マインドにマイナスの要素ばかりでプラスの要素がない。
	x	観光型ホテル（販売担当）	・一般宴会は、前年は通常は見込めない一見の大口客があった特異月であったため、前年同月を上回ることはない。非常に厳しい見込みとなっている。
	x	パチンコ店（経営者）	・監督官庁の規制が来年2月より実施され、業界全体で減収が見込まれる。
	x	理容室（経営者）	・客からは景気の悪い話は何も出ず、どうしようもない。
	x	住宅販売会社（経営者）	・分譲用の土地はなかなか購入できず、土地の売り物件自体が少ない。物価の上昇に伴って客も減少しており、先行きが不安である。
企業 動向 関連  (東海)		輸送業（エリア担当）	・適正な運賃交渉に対しては、客の理解がしっかりと得られている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・例年11～12月は物流が活発な時期となる。今のところ客からは不安な情報もなく、受注量、販売量共に増加見込みである。ただし、収益面では多少苦戦が続く。
		化学工業（人事担当）	・北朝鮮情勢のリスクはあるが、特に何も起こらなければ、景気は少し良くなる。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが増加しており良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・当社の新製品を市場に投入するため、売上が増加する。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・為替は円安基調で安定しており、その分輸出は堅調に推移する。
		建設業（役員）	・地域では自動車関連企業が安定しており、需要と供給がバランスしていれば、価格が上昇してもマンションや住宅の購入客がいる。消費税引上げ前の駆け込み需要にも期待をする。
		通信会社（総務担当）	・国内シェアの高い新型のスマートフォンや新型SUV・EVの発売で、一時的に消費は活気付く。秋祭りやイベントによる需要増加、市外からの旅行者の増加による消費拡大も期待できる。
		不動産業（用地仕入）	・都心の高額マンションの完売が評判となり、都心部に住むことの価値が高まる。
		行政書士	・これから年末に向けて、貨物量が増えてくる。
		会計事務所（社会保険労務士）	・決算が好調で、通常の年2回のボーナスとは別に、決算ボーナスを支給する企業も増えている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・政治的に揺れ動いてはいるが、大きな変動はない。為替はやや円安で、輸出関係企業は安泰である。リーマンショックから10年近くとなり、そろそろ何か起きないか注意が必要がある。
		食品製造業（営業担当）	・嗜好品である飲料製品は、景気が良くないと購入が落ち込むので業界全体が伸び悩んでいる。受注量、販売量が年末のボーナスにも影響するため、厳しい状況が続く。
		化学工業（営業）	・プラスチック原料であるナフサの価格には、大きな変動がない。
		化学工業（総務秘書）	・景気を大きく変動させる要素がないため、やや良い状況から変わらない。北朝鮮情勢による円高は若干のマイナス材料だが特段の影響はなく、衆議院選挙も影響しない。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・メインアイテムとして期待し、順調に伸びていた製品が客を失って急減し、しばらくは売上が回復しない。
		鉄鋼業（経営者）	・衆議院選挙で一時的に停滞する可能性があり、先行きは不透明である。
		金属製品製造業（従業員）	・全体的に仕事量が少なく、値崩れが続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・受注量、販売量共に安定して推移している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・米国では老朽設備の更新が急ピッチで進んでいるので、しばらくは今の勢いを維持できる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・米国の金利政策や北朝鮮問題等、不確実な要素があるので見通しにくい。現状のままが続けば、景気の落ち込みはない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・変化する要因が見当たらない。	

	電気機械器具製造業 (経営者)	・横ばいが続き、これ以上伸びる要素もない。以前に比べれば、高い水準での横ばいである。
	電気機械器具製造業 (総務担当)	・放送・通信業界の設備投資意欲は旺盛だが、システム構築に必要な監理技術者の不足が懸念される。早急な機器増産体制への転換にはちゅうちょがみられ、先行きに対する不安感や警戒感がうかがえる。
	輸送用機械器具製造業 (品質管理担当)	・客先の製品生産計画が、来年上半期くらいまでは現状の水準程度となっている。
	建設業(営業担当)	・役所の予算は年度単位で決まり、期中ではなかなか増えない。施設の経年劣化が進むため維持管理の予算は確保されているので、この先も多少は仕事が入る見込みである。
	輸送業(経営者)	・客からの強い引き合いもあり、安定した物量の確保が見込まれる。
	輸送業(従業員)	・原油価格が比較的安定していることが、景気が大きく変動しない要因の1つになっている。
	輸送業(エリア担当)	・燃料の軽油価格が前年より10円近く上がっている。価格としては特に高い水準ではないが、荷動きも緩慢で、先行きが見通しにくい。
	輸送業(エリア担当)	・景気が横ばいで、輸出入が変化する要因がない。
	輸送業(エリア担当)	・景気が良くなる要素がない。今のままの状況が続く。
	通信会社(法人営業担当)	・様々な経済状況が好転しているようだが、家庭では実質賃金が目減りしているためか、実感が伴わない。実体のない好景気ともいえる。
	通信会社(法人営業担当)	・衆議院選挙に関心が向いているのか、官公庁からの受注がストップしている。民間企業からの提案依頼に対応しても、反応がない。政治ではなく消費の活性化を促してほしい。
	金融業(従業員)	・今後について見通せる範囲では、景気の激変はない。販売業や製造業についても、目にみえる変化はなさそうである。
	金融業(企画担当)	・北朝鮮問題の地政学リスクもあり、相場が好転するような大きな動きは見受けられない。当面は現状のままの景気が続く。
	不動産業(経営者)	・10月は例年より晴天の日が多いという予報もあり、当面は今月と同様に良い状態が続き、売上も前年同月比100%以上で推移する。
	不動産業(経営者)	・不動産評価額は上昇傾向にあるが、実体価格には変化が感じられない。
	広告代理店(制作担当)	・景気が良くなりそうな材料はなかなか見当たらず、このまま現状維持の状態が続く。
	公認会計士 会計事務所(職員)	・業況が改善するような要因が見当たらない。 ・企業間の格差や個人の所得格差は更に広がるばかりである。大手企業を中心に考えれば景気は良くなるが、中小企業を主体に考えれば、悪くなる。
	その他サービス業[ソフト開発](社員)	・12月までは客の案件発注の動きが少なく、受注増加にはつながらない。
	建設業(経営者)	・政治が国民のために行われていない。アベノミクスも絵に描いた餅である。
	新聞販売店[広告](店主)	・新聞折込チラシに対する広告主の目が、一段と厳しくなっている。
	x	-
雇用 関連 (東海)	人材派遣会社(社員)	・足元の状況が悪かったので、2か月先には良くなる。法人客の予約状況も良い。
	アウトソーシング企業 (エリア担当)	・国内新車販売台数、輸出台数共に上向きに推移しており、今後もしばらくは好調が見込まれる。
	職業安定所(職員)	・人手不足感が一層強まっており、人材確保のために労働条件や賃金体系の見直し等を考える事業所が徐々に増えている。働き方が変化することで、景気回復にもつながっていく。
	学校[専門学校](就職担当)	・企業の求人条件では、学部や専攻等の制限が緩和されてきている。対象の拡大と同時に、入社後の教育も充実している。
	人材派遣業(営業担当)	・国際情勢が不安定ななかで衆議院選挙も重なり、しばらくは様子見となる。
	人材派遣会社(社員)	・引き続き求人数の増加、求職者の不足共に続く見通しである。
	人材派遣会社(営業担当)	・世情としては衆議院選挙で若干の変化はあっても、政権交代による経済政策の大転換等がなければ、景況感への影響はほとんどない。それ以外にも景気に影響しそうな要素は見当たらないので、やや上向きの景況感は、2～3か月先も変わらない。

	人材派遣会社（営業担当）	・衆議院選挙や北朝鮮情勢等に鑑みると、景気に対する前向きな期待はもちにくい。
	人材派遣会社（支店長）	・求人数は年間ベースではほぼ横ばいで、堅調に推移している。例年、10～3月は求人数が増加するので、引き続き良い状況が続く。
	職業安定所（所長）	・人材確保が難しい状況は改善しない見込みで、しばらくは変化がない。
	職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向は変わらず、人手不足も厳しいままである。
	職業安定所（職員）	・窓口には、会社都合の転職ではなく、自らより好条件での就職を求めて登録に来る求職者が増加している。ただ、雇用情勢全体をみると、先行きは不透明である。
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・衆議院選挙等、先行きが不透明で不安感があり、景気への影響も懸念される。先行きは、良くて現状維持の見込みである。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・大手企業は、まだ採用枠は残っているが、ひっ迫度の高いポジションは充足してきている。10月以降は、地場の中堅・中小企業で採用活動の積極化が見込まれる。
	人材派遣会社（社員）	・求人の動きは落ち着く。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・衆議院選挙の期間、企業の採用活動は明らかに停滞する。正社員不足の企業や新卒者が十分に採用できていない中小企業への影響は計り知れず、生産性の低下にもつながる。
	職業安定所（職員）	・前月に比べて、新規求人数が8%減少し、新規求職者が8.5%増加したため、新規求人倍率が0.37ポイント低下している。
x	-	-